

山形の母なる川

最上川

山形県倫理法人会
広報もがみがわ
平成29年8月28日発行
www.yamagata-rinri.net



広報最上川 vol. 50



山形県倫理法人会
平成29年度1650社達成
記念式典開催 P.2-3
倫理経営企業訪問・えがおのげんば
株式会社三奥屋 P.5-8

一般社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

【発行】山形県倫理法人会
【発行人】安藤政則 【編集人】五十嵐久仁子

【表紙題字】中村俊光氏

青年委員会「倫理青年の集い」

山形県倫理法人会 青年委員長 佐藤正廣

6月23日(金)から24日(土)にかけて1泊2日の行程で「倫理青年の集い」を実施いたしました。昨年まで過去5年にわたり開催していた「山伏修行体験塾」を今年度は諸事情により催行を取りやめた結果、3年前より企画だけがなくなった「青年の集い」が遂に日の目を見ることとなりました。

当初の企画では「青年の集い」は合宿形式で各単会の次代を担う若手メンバーの倫理の学び研修会といった趣旨でしたが、青年委員会として、山伏修行体験塾の火を絶やしたくないとの委員会メンバーの思いから、最終的に今回の「青年の集い」はマイルドな山伏修行体験塾のような形に落ち着きました。

月山高原で羽黒の銘柄豚「山伏ポーク」を食し、ミシュラングリーンガイド三ツ星獲得、また日本遺産認定山形県第一号の羽黒山を歩き、夜はゆったりと湯殿につかり、山菜中心の精進料理を着に交流を深める。まるで慰安旅行のような設えですが、山伏修行では半ば、駆け足で通り過ぎた羽黒山中の旧跡の由来や歴史など先達山伏による丁寧な解説の下での3時間の山歩きは、参加者に大変好評でした。また、山菜精進料理を囲んだ夕飯では、各単会や倫理活動の話を中心に話題が尽きず、大変楽しい夜となりました。翌朝は、早朝より宿泊した宿坊の当主よりのご祈祷と講話を全員で受け、MSに代えさせて頂きました。来年度での山伏修行体験塾の復活を祈念しつつ、副委員長と委員長と5年にわたり、青年委員会の活動にご協力頂きました倫友諸兄に感謝申し上げます。



有坂方面長、宮内副方面長 ありがとうございました！

法人局とのパイプ役として、ご尽力いただいた北海道・東北方面 有坂方面長と宮内副方面長が今期をもって他方面へ異動となります。

「たった…、2年間…だけ…だった!」というのが正直な気持ちです。母親の故郷である山形県の発展に少しでも貢献させていただきたい、そう願って進んできました。山形県の皆様、これからも倫理経営を深く学び、お互いに支え合い、倫理運動の推進者として益々励まれますことを心より応援しております。ありがとうございました!! (有坂宏一)

北海道・東北方面を約3年半担当させていただいた間、山形県倫理法人会の皆様には大変お世話になりました。今年度は設立25周年を迎えられ節目の年でもあり、創始者丸山敏雄先生のご命日に併せて式典が行なわれ、立ち会うことが出来、生涯忘れられないものとなりました。日本創生に向け、山形県倫理法人会の会員、会友の皆様のご益々のご繁栄を心より祈念しております。ありがとうございました。(宮内秀樹)



発行 山形県倫理法人会
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47
TEL.023-647-5582
FAX.023-646-7660
www.yamagata-rinri.net
発行日 平成29年8月28日



編集後記

山形県倫理法人会
広報委員長
五十嵐久仁子

おかげさまで広報誌最上川は記念すべき50号を発行いたしました。広報委員方々は定期的な広報誌発行を目指し一年に渡り結構忙しく動くのですが、その動きは水面下の黒子的な役割となっています。この50号という機会に、編集に携わった歴代広報委員長特集「広報バトン」で、黒子の仕事にスポットを当てさせていただきました。倫理法人会は役職者になっての学びが大いなので順次役員を交代し、事業も時代に合わせて変化します。だからこそ写真や文字に残して「文化」を創る定期発行の広報誌の役割は大きいと改めて感じました。そして入れ替わる役員達に対応し運営を維持する事務局の皆様は「黒子のプロ」。広報誌においても鈴木さんを始め事務局の力なくては50号も続きませんでした。本当にありがとうございました。引き続き、100号を目指しバトンを繋いで走り続けます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

Information

- 9月より、新庄最上倫理法人会のモーニングセミナーは金曜日開催になります。
時間：6：30
会場：ニューグランドホテル新庄 (会場、時間変更なし)
- 平成30年度辞令交付式
日時：9月6日(水) 17：20～辞令交付式 (リハーサル 16：20～)
会場：ホテルシンフォニアネックス
- 役職者基礎研修
日時：10月17日(火) 17：00～19：00
会場：パレスグランデール
- 会員大会
日時：11月21日(火) 16：30～19：30
会場：パレスグランデール
講師：二宮尊徳七代目子孫 中桐万里子氏

ゆるぎない目標達成、おめでとうございます！

山形県倫理法人会

平成29年度1650社達成記念式典開催

8月8日(火)ホテルシンフォニーアネックスにて1650社達成記念式典が盛大に開催されました。安藤政則県会長の挨拶から始まり、今田早百合普及拡大委員長による経過報告、法人局普及事業部和田毅部長による式辞、そして目標達成をされた6単会(山形市、酒田市、長井市、南陽市、山形市中央、庄内中央)の表彰式が執り行われました。

安藤政則県会長は挨拶で次のように話されました。



「ゆるぎない1650社を、多くの皆様ので大きく上回って達成できた事、心より感謝を言いたい。先日丸山理事長がこのようなように述べられた。まさに今、過去経験のない変革の時が来ている。民主主義や経済至上主義は否定され、アメリカやイギリスが国を二つに割るかのよ

普及拡大達成報告 (8/8 現在)

山形県	目標 1,650社	→ 1,712社	103%
山形市	目標 175社	→ 175社	100%
酒田市	目標 160社	→ 163社	102%
長井市	目標 100社	→ 101社	101%
南陽市	目標 75社	→ 79社	105%
山形市中央	目標 170社	→ 180社	106%
庄内中央	目標 100社	→ 101社	101%

うな価値観の歪みが起こるなど、異常と思われる事が一気に動き出している。この状況下を生き抜くには、二元対立の構図から『多元共尊』へ。様々な異なる利害を持つていながらも、一つの目標に向かって力を合わせていかなければならない。

山形県倫理法人会は、県内企業における浸透率が全国2位の4.18%という大変誇らしい数字となった。(第1位/宮城県4.68%)物事が突然変化する臨界点であるティッピングポイントとは2.5%とし、全国倫理法人会がそれを目指す中、山形県の4%超えは驚くべき数字である。

『倫経一体』という言葉がある。倫理の学びがあって経営が根ざしていき、そして信頼が生まれる。倫理経営企業が増え地域に活力が生まれ、そして地球の安泰につながる。『良事は多くの人に伝えよう』と素直

な実践で、今期目標を達成した6単会。やり遂げた仲間が隣にいる事を誇りに思う。米沢の師上杉鷹山公の言葉『為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』これを胸にまた一年皆様と共に頑張ろうと決意を新たにしました」



今田早百合普及拡大委員長は「自分の手柄ではない」と謙遜されながらも、次のように経過を報告されました。

「普及拡大委員長を拝命し、普及は倫理の実践だという事をテーマに

業に倫理を!

Congratulations



掲げた。山形市中央の布施相談役、土屋普及拡大委員長から、二度に亘り普及の仕方、普及の何たるかを指導いただき、これが導火線となった。川又先生からも普及拡大委員会こそが倫理の真髄、魂が震えるようなご講義を頂いた。数々の人や運に恵まれてこの目標が達成できた。

期初1572社で始まり、9月には一旦1548社に落ち込んだ。大変な事になったと青ざめたが、南陽市飯塚会長の底力で12月全国トッ

プの速さで中間目標を突破された。そして1月17日には104社で山形市霞城倫理法人会を設立する事ができた。県内各地の会員の皆様が助けに来て、菅野会長は辛い時でも笑顔を忘れず頑張った。そして2月に中間目標1600社を達成する事ができた。新しく単会を作るという事は産みの苦しみが伴うが、それだけの事はあると実感。2月庄内中央が中間目標を達成し、3月に1631社。その後も山形市、酒田市、山形市中央も達成の報告が続ぎ、7月に目標超えの1659社に。そ



して長井市の小関会長は、10周年記念式典を行い川又先生のお話を聞くんだ!という強い想いで100社を達成し、本日もなんと1712社という素晴らしい数字を報告するに至った。本当に皆さんの力で達成できたこと、心から感謝する」

そして、法人局普及事業部和田毅部長から式辞をいただきました。

「ものごとを達成するには3つの条件がある。天の時、地の利、人の和。つまり、人の和ができた時に、地の利が活かされ時が訪れる。この力が、山形の目標達成を成した。拡大の数字合わせではなく、『拡充』を目標にして5年になるが、拡充は拡大よりも難しい。一時的に人を増やすのではなく『ゆるぎない』という言葉にあるように一社一社丁寧にお

誘いし共に学び続ける方を増やしたい。それには普及に行く『人』が問われる。『あなたが言うなら一緒に学ぼう』と思っただけの人が増えたので目標達成できた。是非これから入会者を参加者に、参加者から実践者に、実践の良さがわかったら役職者に、そして普及をする地域の貢献者に導いて欲しい。このような人の和を強くする事で山形の地域の活性化、経済が健全に伸び、日本創生の足がかりになる事を願う」

祝賀会は鈴木隆一相談役による活力ある乾杯で始まり、中村恒一相談役による万歳三唱で達成の喜びを分かち合いました。



平成29年度 女性倫理講演会

「泣いて笑った女性倫理講演会」

昨年の8月、県女性委員長を拝命した時に「楽に役職をこなそう。あえて大変なことは避けて通りたい」という心のつぶやきを神様が聞いていたのか、皆様に苦難の道を歩ませることになってしまいました。

毎年開催される女性倫理講演会。「山形市内の開催では距離的に限られた方しか聞くことが出来ず残念だ」と以前から感じていたので、今回は庄内と内陸2か所の開催を試みました。

当初は小規模な講演会を想定していましたが、検討の末決まった



会場がビッグウイングの大ホール。400席を埋めるには著名な方に来ていただかなければ。苦難や逆境に潔く立ち向かい力強く生きている女性を講師の条件に選定を始めました。最初に決まりかけたスポーツ界の方は日程が合わずに断念。その後各単会の女性委員長の知恵をお借りして様々な方に連絡しましたが、なかなか決まらず焦るばかり。そんな折、元アイドルグループの議員さんが引き受けてくれ、これで大丈夫。と思ったら政治家はNGという指導が入り、万事休す。何をやってもうまく進まないジレンマ。

八方塞がりのこの事態を見かねた講演会実行委員の田中委員長、三澤県女性副委員長そして今回2か所で司会進行を務めてくれた今田由美子天童市女性委員長が、県事務局に集結してくれて怒涛の電話作戦。そして遂に承諾して頂いたのが、宮崎ますみさんです。

小さな体に大きな瞳、華奢な体の宮崎ますみさん。その彼女に起きた「乳がん」という女性にとっては絶望的な苦難と試練。なお追い打ちをかけるような次男の「発達障害」「離婚」鳥肌が立つような壮絶な彼女のこれまでの人生。幼少の頃お母さんの期待に応えよう、賢く優秀な私でないかと、無意識に気を張っていた自分。女優になった時もやはりいい人を演じなければならなかった自分。彼女は無意識に心の闇を育てていたのでそうです。



ある気づきを得て、癌を含めすべての苦難を受け入れ、本当の自分らしく生きることを決めてから病は完治。離婚もこじれることなく解決し、発達障害の次男も絵の才能を認められてアメリカに留学することが決まったそうです。

病気や家庭会社のトラブル、少なからず自分たちにも無意識で心の闇を作っているかもしれせん。その苦難試練を、ふんわりと何のこだわりもなく、受け入れられる自分でありたいものだと思います。

「信ずれば成り、憂えれば崩れる」庄内地区販売枚数184枚、内陸地区426枚合計610枚。準備からチケット販売、また当日のお手伝いまで、各単会の女性員会の皆様、影ながら支えて頂いた単会の会長、役員はじめ皆様、感謝と感動としてありがとうございます。心より御礼申し上げます。感謝。



山形県倫理法人会 女性委員長 佐藤圭子

えがおの げんば



■ えがおの人
山形県倫理法人会 相談役
近 清剛 氏
昭和24年 高島町生まれ
血液型 B型



■ えがおの現場
株式会社 三奥屋

[代表取締役社長] 近 清剛
[創業] 昭和23年に法人名三奥屋と命名、漬物専業とする
[所在地] 本社/東置賜郡高島町 糠野目1664
[事業内容] 山形の漬物・惣菜製造販売、外食事業



伝統の味と製法で山形の漬物を全国に届ける「晩菊本舗 三奥屋」。数百年の時を経た今でも現役の六尺樽が並ぶ熟成蔵に、歴史の重みを感じます。会社を社会の公器として捉え、そこで生活するすべての人がしっかりと生きていけるようにと尽力する近社長と奥様の佳代さん、次代を繋ぐ常務の聡子さんに話を伺いました。

「漬物」で農家を豊かにしたいという思いで

「三奥屋」のルーツをさかのぼると、もともとは味噌・醤油を製造していたそうです。

戦前は塩を買い入れ、戦中には漬物を海軍に卸していました。漬物なから料理をすることがなくカリウムを摂ることで元気になる、極寒の地でも凍らないという利点があったから

です。昭和23年に父の近才吉が、漬物を専業とする「三奥屋」を創業しました。父は地域の農業者と学ぶ場所を提供しようと「塾」をつくり、「今やるべきことは何か」「将来はどんなことをしていったらいいのか」を本を輪読したり、話し合い、生き方について共に学んでいたそうです。

「漬物」に力を入れたのも農家を豊かにするためでした。



[受賞歴]
昭和40年/山形県漬物品評会において「こうじ漬」農林大臣賞受賞
昭和57年/山形県名産品評会において「晩菊」金賞受賞、健康漬物品評会において「赤かぶ」金賞・「おみ漬」銀賞・「青梅砂糖漬」銅賞受賞
昭和62年/山形県産業省受賞、食品産業振興発展で農林水産省食品流通局長賞受賞
平成6年/山形県漬物展示品評会において農林水産大臣賞「寒菊」・山形県知事賞「おもいのほか」「さくらんぼ」受賞
平成14年/山形県漬物展示品評会において「長芋ゆず味」農林水産大臣賞・「梅干」全日本漬物協同組合連合会長賞受賞
平成26年/山形県漬物展示品評会において「たくあんチョコレート夢」農林水産大臣賞受賞
他、多数



倫理との出会い

社長 平成12年2月頃、米沢市に単会を立ち上げるということで、(株)シベールの熊谷眞一さん(現・山形県倫理法人会相談役)をはじめとする法人会の方々がいらつしやいました。私自身はそれまでこうした会があることを知りませんでした。話を聞いていくと、「教育力」と「文化性」を持った団体だと感じました。以前から会社を経営するうえで一つの指



針が必要だと感じていた私は、現名誉会長の本間利雄さんが父と知り合っていたこともあり、入会することにしたんです。5月の設立に向けて我々は夕方から会合していたんですが「この会の集まりは朝だ」と聞かされた時は驚きましたね。

「自己優先ではなく、他者優先」

社長 入会して気づいたのは、倫理で教えられることが祖母や両親から教えられたことと同じだったということ。「朝早く起きる」「親から言われたことは守る」「孝養を尽くす」「挨拶はきちんとする」「礼節を重んじる」など、生活の中で当然のこととして育てられてきたので、倫理の教えに違和感はありませんでした。「自己を優先するな、他者を優先しな



さい」これも祖母から教えられたことです。祖母や父の戦友たちからも、「あなたのお父さんは自分のこ

奥様 「100回行ってみよう」と決めて朝5時に毎日のように通ったんですが、今考えるとよく頑張ったなあと思います。
社長 常々思っているのですが、年に一度は最上川の源流のところでもーニングセミナーを行うのもいいんじゃないでしょうか。最上川は山形県の本流ですから。

「苦難はあっても苦労だと感じない、与えられたことを解決していくだけだから」

社長 苦難はたくさんありますけど、いい機会を与えられたと思うことにしているので苦労だとは感じません。



とよりも人のことを優先する生き方をしていた」とよく聞かされました。

経営者ともなれば、ましてやビジネスの世界では他者を優先しなくてはならない場面が多いはず。子どもの時から教えられてきたことが倫理では理論付けて学べるので、改めて気づかされることも多いです。

大事にしたい4つの軸

社長 万人幸福の葉17カ条の中で、私が特に大事にしたい4つの軸は【一】

今日は最良の一日、今は無二の好機、【五】夫婦は「対の反射鏡」、【十】働きは最上の喜び、【十四】希望は心の太陽である、です。その時々で事象で人の心は常に変化しています。だからこそ、この教えを常に心に持ち続け、勉強していかなければなりません。私自身、まだまだ足りない部分がありますが世の中に完成された人

「なんでこうしなくちゃならないんだ」「どうしたらいいんだ」と忸怩たる思いをすることは、もちろんありますよ。でも、一時そう思っても目の前に与えられたことを解決していくだけ。「苦難をたくさん受けなさい、苦難は一人で受けなさい」と親から教えられてきたことが生き方のベールになっています。

「最上川」発行50号！ 発刊時の思い

社長 「最上川」は山形県倫理法人会創立15年を記念して発刊しました。会員がどんどん増えてきたので連帯感を醸し出すためにも、対外的に倫理の活動を示していくためにも会報誌が必要だと感じていたんです。山形独自の活動を地域に広く伝えていくことは、会員が今後活躍していくためにプラスになると確信していました。会報誌名は多くの応募の中から、「最上川」に決まった経緯があります。今回「50号」を迎え、会報誌が当初の目的としていた「倫理の仲間の絆を高めていく」一助となったのではないかと改めて感じているこ



間なんていない。逆に、人間の魅力はそこにあると思っています。

100回通った朝のセミナー

社長 「家庭倫理の会」が米沢でも発足することになり、妻と二人で随分通いました。



ろです。積極的に活動されている会員の方々の様子をいつも拝見しながら「すごいな、自分もしっかりしなくては」と刺激をうけています。

誕生月の昼食会で コミュニケーション

社長 以前は誕生月の社員を招いて、我が家で月に一度昼食会を開いていました。日頃、出張や会議で外出す

- 第1号 (H17.4)～第6号 (H18.7)
近清剛会長／桜井仁委員長
- 第7号 (H18.10)～第10号 (H19.7)
近清剛会長／小松健一委員長
- 第11号 (H19.10)～第22号 (H22.7)
中村恒一会長／加藤章委員長
- 第23号 (H22.10)～第34号 (H24.8)
鈴木隆一会長／土屋和浩委員長
- 第35号 (H25.11)～第38号 (H26.8)
五十嵐慶三会長／菅野美奈子委員長
- 第39号 (H26.11)～第46号 (H27.8)
五十嵐慶三会長／五十嵐久仁子委員長
- 第47号 (H27.11)～
安藤政則会長／五十嵐久仁子委員長

50
vol.
THANKS.

広報バトン

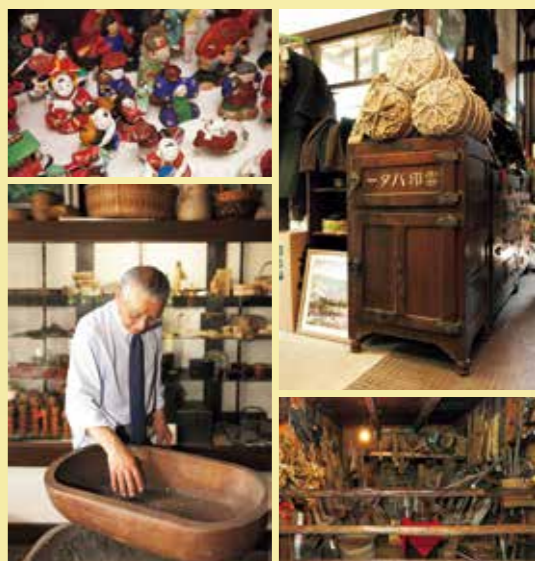
山形県倫理法人会に広報誌「最上川」 おかげさまで50号 歴代広報委員長による

平成17年。当時の近清剛県会長が、県内会員一丸となるために相互理解・情報共有のツールである広報誌が必要だと決断されました。その想いを伝えるバトンを落とさないように歴代広報委員長が奔走し、年4回の発行を一度も休むことなく継続してついに50号を迎えることができました。そして何より、県や単会の役員をはじめとした多くの会員の皆様に、快く取材や執筆をお受けいただいたお陰で、毎号充実した内容を掲載する事ができております。この場を借りて深く深く感謝申し上げます。今回50号を記念して歴代広報委員長に書いていただいた当時を振り返った記事を拝読し、このバトンに託された様々な想いを改めて知り、これからも楽しく奔走したいと思えます。

六代目最上川編集人(現職)
五十嵐久仁子
(現山形県倫理法人会
広報委員長)



明治初期の建造物をそのまま活かした郷土料理掬亭。懐かしい佇まいでいただくふるさとの味が人気です。併設の高島民族資料館では地域の歴史を物語る様々な資料が収められています。



ることが多いので、昼食会でコミュニケーションをとりながら社員との距離感を縮めていけたらと思ったのがきっかけです。

奥様 誕生月というと人数が10何人にもなることもあるし、昼休みを利用するので早く食べられるように、いつもカレーライスを作っていました。昼食会を始めようという話になったときに、夫がすごく意気込んで「カレー」の本を買ってきたんです。トイレにもその本を置いていたくらい。それを見て、てっきり夫が作るものと思っていたら、結局作るのは私。「あの本はなんだったのかな...」って。(笑) 入社もない社員には「慣れましたか?」「困ったことない?」

OFF の過ごし方は?

歴史が好きで「伊達政宗」をテーマに各地で講演もしています。知らない歴史にふれた時の喜びや、小さな歴史を知ることによって全国の人と縦横無尽に語り合えるところが歴史の魅力。クラシックを聴いたり、やりたいことはたくさんありますが、なかなか時間が取れないですね。



歴史が好きで「伊達政宗」をテーマに各地で講演もしています。知らない歴史にふれた時の喜びや、小さな歴史を知ることによって全国の人と縦横無尽に語り合えるところが歴史の魅力。クラシックを聴いたり、やりたいことはたくさんありますが、なかなか時間が取れないですね。

と聞いたり、年配の社員とは「孫が生まれて良かったね」と、とりとめの話をしていました。

社長 そういう場でかしまった話はないです。必要な話から。昼食会の他にも、給料日にはA4版用紙1枚に感謝の気持ちを書いた手紙を社員全員に渡しています。「頼まれたことは「はい」と言いなさい」という倫理の教えの通り、なんでも「はい」と引き受けていたら役割が増えてしまい(笑)給料日に直接渡せないことが最近

必要な話から。昼食会の他にも、給料日にはA4版用紙1枚に感謝の気持ちを書いた手紙を社員全員に渡しています。「頼まれたことは「はい」と言いなさい」という倫理の教えの通り、なんでも「はい」と引き受けていたら役割が増えてしまい(笑)給料日に直接渡せないことが最近

多くなりましたが。

後継者として

常務 医療機器メーカーを辞め、10年前に山形に戻ってきました。うちの社員は平和的で優しい人が多いです。悪く言えば「温いところがある」と言えるかもしれませんが、良いところを残し、人材を大切にしながら、当社の漬物がこの先も残っていくるように経営をしていけたらと思っています。

社長 会社を維持していくには歴史を振り返り、昔とどう向き合いなが

ら次代を切り拓いていくかが大切。娘たちには「昭和のまま止まっていた駄目。日本の文化を大切にしながらも昔に戻らず、常にレベルアップしていかなければならない」と話しています。とはいえ、経営のことや数値のことを私が言わなくてもわかっているようで、よく勉強してなあと感じています。難しい輸入トレードの仕方や金融についても理解しているので頼もしいです。

常務 父は親ばかなので半分に聞いてください(笑)両親については日常の中でいろいろな感情がありますが、健康で長生きしてもらいたいですね。

近会長の情熱を携えた、第一号の発刊

一代目最上川編集人 桜井仁
(現寒河江市倫理法人会相談役
兼普及拡大委員長)



平成15年7月31日寒河江市倫理法人会設立を受けて同年9月1日より、中村俊光会長の元、1年目がスタート致しました。無骨ながら副会長を仰せつかっており、翌年2年目を迎えた時に、県役員会の方から単会に広報委員長の役目の要請がありました。相談の上、不肖私奴にお呼びがかかった次第であります。何せその方面はずぶの素人で、皆目見当がつかない中「倫理は頼まれたら受けること」そして「大した活動は無いようだ」との言葉に甘んじて、初代委員長をお受けしたということです。

間もなく県の役員会に出席した際に、当時の近清剛会長より「今年度は倫理法人会設立15周年の節目に会報誌を発刊する」との発表があり、心の臓がバクバクした記憶がございます。時すでに遅し、腹を決めて、既刊や他単会の会報誌などを見たりして準備をしつつ、どうにか広報委員会を開けるころまでたどり

きました。が、何とこの場には任せて安心の頼りになる倫友が勢揃いで胸をなで下ろしたところでした。

いよいよ当単会の中村俊光会長の揮毫による創刊号が発刊されて、山と川と人々との関わりを鮮やかに据えた表紙に直面した時は胸が熱くなり、倫理法人会の機動力を実感したところです。近会長の会報誌にかけた情熱を携えて「最上川」を発刊出来たことは、山形県倫理法人会に新たな一頁を印したとも言えるかと思えます。

今日の広報委員会のネットワークは、当時とは比較にならないほど拡充していると思えますが、10万社に向けた一里塚になるよう更なるご活躍をお祈りします。



1000社達成式典を掲載した喜びを実感

二代目最上川編集人 小松健一
(現寒河江市倫理法人会会長)

平成17年度、初代県広報委員長に桜井仁氏、私が広報副委員長に任命されました。仕事柄その様になったものと思っております。

平成17年2月、山形県倫理法人会近清剛会長の基で県広報誌タイトルの公募が各単会(当時7単会)に送達され、6単会より様々なタイトルの応募がありました。その中で、山形市倫理法人会より応募なされた山形の母なる川、最上川に決定しました。タイトル文字は、初代寒河江市倫理法人会会長中村俊光氏の直筆を採用しました。



紙面の内容と致しまして「会長あいさつ」「我が社の朝礼」「倫理と出会う」「各単会会長のあいさつ」「各単会の報告」等の内容で年4回発行する事も決定し、桜井委員長と二人三脚で創刊号から第6号まで発行致しました。

平成19年度より、2代目広報委員長を拝命しました。当時の紙面の内容としては「倫理法人会憲章」を掲載、又「倫理法人とは」、「倫理法人会の各種活動」「各単会(8単会)の倫理経営講演会の報告」「入会のおすすめ」等の内容で掲載し、第7号(第10号(特別号)まで発行させて頂きました。

広報誌発行の中で印象的で思い出深いのは、平成19年7月7日に山形県倫理法人会設立15周年記念式典と、第2回会員大会、そして会員企業1000社達成を祝う記念式典並びに祝賀会が、かくも盛大に開催された事を掲載できたのは、委員長として幸せだったなと思っております。

年間4回の発行もできましたのも、各単会の広報委員の方々、又会員の方々そして役員の皆様方のご協力のお陰で無事発行できたものと感謝申し上げます。ありがとうございました。

2000社という忘れ物を取りに行きませんか?

四代目最上川編集人 土屋和浩
(現山形市蔵王倫理法人会普及拡大委員長)

私の前の「」担当が加藤章山形市事務局長(現在)でした。実直で心遣い溢れる温厚なお人柄で、毎回お菓子を買ってきてこれ参加者をもって下さっておりました。茶道に通じる大変素晴らしい実践と思い、私が委員長になった後も自らお菓子を持参することになりましたが、毎回違うお店のしかも美味しいものとなるととても悩ましく決めるのが大変でした。省みるにありがたくも「広報やお菓子で悩んで委員会?」であったと思います。

鈴木隆一第8代会長時代の3年間、広報委員長として皆様にお世話になったわけですが、『2000社』

を目指して県内未普及地域に純粋倫理の定着がどんなに進んだ時期であり、単会設立のお手伝いや様々な取



材を通してたくさんの方の倫理を得ることができました。まさに『「こかし」豆で達人な会員さん』であり、本当に貴重な経験をさせて頂いたと思っております。

そんな中、2012年に山形県倫理法人会20周年記念誌「やまがたの倫理」を発行いたしました。県内における倫理運動の歴史と活動を克明に綴った内容です。現在も県事務局で差し上げておりますので、もし倫理についてわからないことや知りたいことがあればこの記念誌に立ち戻ることをお勧めします。10年間に渡りどのような方がいつどんなことを行なっていたのかを知ることが会の礎を揺るぎなくすることに他なりません。つまり「築く未来温故知新で迷いなし」ですので、会の在りようを1冊の本にまとめつつないでいくことがとても大切だと思います。

既に30周年記念誌のための資料整理を始める時期にきています。記念誌はこの会の過去と未来をつなぐ要石ですので、広報委員会を中心にしっかりと計画を立てて準備を進めていただきたいと思っております。これが発行される時に、もし2000社になっていたら実に愉快ですね。

1350社とフルカラー化

三代目最上川編集人 加藤章
(現山形市倫理法人会事務局長)

2007年、中村恒一会長から委員長を拝命しました。実は広報誌「最上川」が発刊される時、ライオンスクラブの広報紙も同じですが、と申し上げましたら、「そう!?でも、いいんじゃないの?」と一蹴。今思うと若気の至りですが「私だったらこうするぞ」と意欲に満ちていました。「最上川」の題字を会長の書にしたいと申し上げたけれど、断念したこともあります。

歴代広報委員長は殆どプロの方々で、私「とき素人が委員長としてよくやれたものだなあと今でも冷や汗が出ます。尤も、大風印刷の松井さんの協力があればこそ、でありました。また、事務局鈴木さんの確実な仕事が大助かりでした。

表紙を真下慶次画伯の「最上川」の絵にしましたが、記念館で絵を拝見すると、最上川への憧憬と愛着を感じ、われらが誇りとなるまでに時間は掛かりませんでした。

紙面数を10から12に増ページすることを役員会で了承され、よしやるぞと、気合を入れなおしたことも思い出されます。



山寺風雅の国で行われた「音楽と親月の宴」は楽しいイベントでした。事務局で作ってくれたペーパーマン「紙の月」。同名の映画が山形に来た時は、即見に行きました。

小国のブナ文化フォーラムでは、熊汁が美味でした。そして、写真を撮るのもとても楽しかった。自然は気負わず美しく、仲間はみな笑顔で、文章もついつい冗長になったかもしれません。

倫理が面白く楽しく、また人生の至る処で役立つ会であることを、的確にお伝えする委員会であって欲しいと思っております。



仕掛ける広報

五代目最上川編集人 菅野美奈子
(現山形市霞城倫理法人会会長)

前任の土屋和浩山形市蔵王倫理法人会普及拡大委員長(現在)からMS会場で、「あなたならできる」という言葉をいただきました。「飲み会の企画が、りんりんず(山形市蔵王倫のクリスマス会)で演奏した幻のバンド」の再結成か?とあれこれ考えましたが、県の広報委員長のことだったのです。当時、「女性は、女性委員会」という枠組みがされているような気がしていましたので、広報委員長と言われたときは、新鮮だったのを覚えています。

広報委員の経験はありませんでしたが、県女性委員長を経験してよかったと思っていたので、新たな実践として迷いなくお引き受けしました。何よりも土屋さんの綿密な計画の元、引継ぎを湯野浜温泉の合宿で行ったことはとてもありがたかったです。広報副委員長を引き受けてくださった五十嵐久仁子さんや、県内広報委員の皆さんと一緒に過ごせたことは、その後の運営にとってもプラスでした。こう考えてみると、土屋さんは、倫理法人会の秋元康氏ですね。私たちはAKB48と言いたくも言えないですが、新し



い発想にはいつも驚かされますし、成長できる場を作ってもらったと思っております。

県広報委員会は、集まる回数が多いのですが、たくさんの方に参加してもらえないように、前任の土屋さんが「お菓子作戦」なら、私は「ランチ作戦」で12時集合の弁当付きの委員会にしました。委員の皆様協力と、五十嵐さんのお力もあって、広報誌をリニューアルし、当時の県会長五十嵐相談役が県内外でPRしてくださり、たくさんのおいしいお言葉をいただきました。現在、五十嵐広報委員長が、さらにブラッシュアップした広報誌づくりをされています。これからも、皆さんの力を少しずつ、たくさんの方に協力していただけて、会員が待ち望む広報誌に、そしてこれからも積極的に「広報」を仕掛けていって欲しいと思います。



PICK UP NEWS

今期で任期を終えられる単会会長、法人局正副方面長のメッセージ、単会の倫理実践や会員交流のイベントの様子をご報告します。

平成27年9月より会長を拝命、早くも2年になりました。倫理法人会を終戦後から今日まで諸先輩の努力により引き継がれてきました。これからも引き継がれていくものと確信しております。引き継ぎの一端を担えたことを光栄に思っております。2年間会員の多くの皆さんと一緒に学べることができ、有り難うございました。感謝申し上げます。また平成27年1月には、月間MS出席社数と出席者数が日本一になりました。会員・役員・相談役、諸先輩の継続力の賜物と感謝しております。

私たちが学んでいるこの倫理法人会は、海外にも複数単会ができ世界に私たちと同じ学びをしている人々がいる、そしてこれから益々増えていく、考えると嬉しくなりますね。

最後に、2年間、ご協力・ご支援いただきありがとうございました。

山形市
倫理法人会
ごあいさつ

会長拝命から
2年、有り難う
ございました

会長 荒井照雄



上山市
倫理法人会
ごあいさつ

倫理法人会
会長を退任する
にあたり

会長 奥村健二



3年前に晋道さんから「役は人を作る」と言われて倫理感のない自分が引き受けたのがキッカケでした。上山市を立ち上げる時に入会し興味のある講話しか参加しない不良会員でした。色々な委員会に出席させていただき、富士研にも二度参加しました。

他単会役員朝礼にも参加させていただき、紐できちっとテーブルを揃えて、司会を交代で練習したりするのを拝見して感動した次第です。小さい進歩ですが妻と若い社員が倫理に出てくれたこと、金曜の目覚ましをセットしてくれたことに感謝です。3年経っても4分間に時事と倫理を交えて喋るのは慣れませんでした。当社は今年創業110周年をむかえ、この期に燃料屋からの転換を開始しております。60歳、結婚25年、創立110周年、節目の年になりました。倫理で出会えた方々に感謝です。

山形市蔵王
倫理法人会
ごあいさつ

感謝

会長 中村勝義



麦秋の候、木は緑もいよいよ濃くなり、あじさいの彩も清々しい季節となりました。日頃は当会の運営につきまして、会員皆様のご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年度スローガン「いきいき参加、いきいき行動、参加してみてもわかる倫理の良さ」のもと、諸活動を行ってまいりました。その中でも、特に毎週開催のMSへの参加者数・社数におきまして、県内15単会の内でトップの成績をキープできております。会の活性化に一翼を担っていただきましたことに心から感謝申し上げます。

『終われば総て良し』と申します。今年度最後まで、気を許すことなく皆様年頭に掲げられた目標に向け有終の美を飾ることができました。そして、新しい年度がスタートできますことをお願い申し上げます。

《ツキを呼ぶ魔法の言葉》
ツイてるツイてる…感謝します…ありがと…運が良い…

倫理法人会の会員企業のご繁栄とご発展を心から祈念申し上げます。

report

宮城倫理経営塾を受講して

鶴岡市倫理法人会 相談役 県庄内ブロック長 栗本正幸



事業継承して9年、会社としては54期を迎えます。これまでの当社には経営理念というものがありませんでした。毎朝の朝礼で使用する『職場の教養』のなかには幾度となく経営理念について触れる機会があり、その度に「当社でも早く経営理念を創り上げなくては！」と言う気持ちが強くなりました。

元来経営理念の重要性は痛切に感じておりました。社内には起きる様々の事柄に対し全て対処療法で根本的な何かを放置したまま、そして自分自身もその時々揺れ動き判断を誤っていたように思います。自分自身もぶれない『これだっ!』という旗印!その旗をかかげ正々堂々と経営に邁進していきたい。社員さんとベクトルを合わせ共に幸せになる。そんな道しるべとなる経営理念を創りたい!私はそんな想いで、この第17期宮城倫理経営塾を受講したのです。

毎講の経営塾には私の様々な心癖が出てきました。体裁を気にしたり、廻りの出方を観たり、丁度良い落とし処を探したり。しかし全て見透かされていたように思います。

私や他の塾生が大きく変化したのは富士研の時でした。経営理念作成に翻弄する中、塾頭を始め参加して下さったスタッフの皆さんの深夜まで続く本気のジャッジが始まったのでした。全く赤の他人の皆が『何で俺なんかの為にこんな一所懸命に…。』その時私は思いました。『そうだ、もっと信じて良いんだ!』と、その瞬間心が軽くなっていったのを覚えております。

そんな素晴らしい体験の出来る倫理経営塾。是非とも事業継承や起業をされた方は参加されて間違いのないと思います。毎回の川又久萬先生の講義も必見です。

report

中小零細企業経営者のための「最高の実践道場」

北村山倫理法人会 専任幹事 高橋進一

2月の降雪のなか「宮城倫理経営塾」の聖地である「茂庭荘」へ向かうと、会場では「挨拶実習」する声が響き渡り、多くの卒塾生(講師)が待機。不安と緊張ワクワク感が交差。会場入りすると真正面には迫力の「宮城倫理経営塾」の看板。気を引き締めて着席。そこに「カバン・レポート用紙2枚、筆記用具、理事長書籍2冊」が準備済み。そしてとうとう16期生の進行のもと“倫理ベル”が鳴る。

「参加すれば学べる」「何かを与えてくれる」という考えは初講で陥落。“起立”の号令。イスをいれなかったものなら後方の講師陣から「イス入れろっ」の弩号。返事が小さければ「声が小さいっ」と「挨拶実習」を実施。手抜き発表をしようものならみんなの前で集中砲火。講義内容が「SWOT分析」で、「事前にSWOT分析の参考書等を取り寄せて勉強してみましたか」という講師の問いに塾生ゼロ回答。その瞬間、「経営者がこれからやろうとしている事に対してなにも準備してないのかっ」の一喝。

まさに“道場”のそこは「非日常」。そんななかで自身の「心グセ」に気づき受け入れる。そして、その心グセを破る自己革新への「挑戦」へ。まさに「自分の人生と会社の存続をいかにすべきか」を自問自答する「自分との戦い」。

講師陣と多くの卒塾生が毎回、地道に積み重ねた“手弁当”の塾から湧き出てくるものは「感謝」と「報恩」。その想いはいつしか「お客様のために、社会のために、社員のために」と人世のためへとつながっていく。こうして創り上げた「唯一無二の経営理念」。今後は、倫理運動を通して【純粋倫理に根ざした 経営】すなわち「倫理経営」に邁進し、永続に発展する企業を目指します。



【宮城倫理経営塾】

体験報告



宮城倫理経営塾では県外入塾の枠を設けていただいております。今年の第17期では山形から2社参加しました。倫理研究所と富士高原研修センターと連携し「純粋倫理の学びを基礎とした人格育成と経営者としての資質向上を両立させる学びの場」を提供。経営理念や方針書、計画書など具体的なビジョンの「形」を作り上げていきます。7月に終了式を終えられた塾生2名より報告を頂戴しました。

鶴岡市
倫理法人会
ごあいさつ

二年間の会長職 を終えて

会長 佐藤裕宣



二年間、なんとか鶴岡市倫理法人会5代目の会長職を勤める事が出来ました。役員の方々、会員の皆様、家族、会社の社員さんに心より感謝申し上げます。

二年間を振り返りますと、まず、会長を引き受けるにあたり一番不安に感じていた事の一つに毎週のMSでの会長挨拶です。話すことが得意な私にとっては毎週皆さんにお話するネタをどうやって作るうーでした、自分の一週間を振り返り、どんな倫理の実践をしたかを探して、またMS当日の17カ条から自分の体験などを主に話すようにしてきました。これは私にとってはとても学びとなる実践でありました。また、県の役員会を通して単会の役員会を行うための組織の在り方も会社や社員さんに役立ちました、基礎講座での勉強も会社や家族のためとなる多くの学びを頂きました。

二年間早かったです。約100回のMSや行事を終えることが出来、本当に皆様ありがとうございました。今後とも、明朗愛和喜働、鶴岡市倫理法人会よろしくお願いいたします。

酒田市
倫理法人会
気づきの報告

一年を 振り返って

会長 佐藤英夫



MS参加者が減って来ている状況の中会長を引き継ぎました。とにかく9月から毎月スペシャルMSをする事にし、予算をけげずに手作りコピーチラシやSNS(FB)を利用し毎回招待しました。するとMS出席率はだんだん回復し、「継続は力なり」を実感しました。また、普及拡大委員長をかってでくれた方がおり、地道なハガキ作戦のお陰で、とても回り易くなりました。北海道・東北方面会から学んだ、目標値の見える化、2月から毎週十軒くらい専任幹事と二人三脚で企業訪問し各メンバーへの報告メール、等々あらゆる手をやってみました。すると悩んでいた頃が嘘みたいに楽しくなり、期首より下がり続けていた数字がプラスに転じてきました。県の誕生日新聞企画と一緒に花を持って会員様を回ったのも退会防止に繋がりました。無我夢中の初年度も終わり、次年度の準備でんてこ舞いですが、朗らかに喜んで進んでやって来年度に繋げていきます。

山形市霞城
倫理法人会
イベント報告

第一回 会員交流会

広報副委員長 大宮幸男



第一回会員交流会を、去る7月7日(金)午後7時よりワシントンホテル2階二十三間室に於いて当会役員であります、秀鳳酒造場さんのお酒を楽しむ会」と題して行われました。特選酒6種類とおいしい料理を囲み19社20名様の出席を賜り、日頃なかなか会えない会員様との楽しい時間を過ごさせて頂きました。菅野会長を始めとするそうそうたる酒豪ぞろいとおつて6種類の日本酒達は「アツッ」という間に空ビンへと姿を変え、笑い声の絶えない2時間半という時間は当会の団結力をより強固な形にし閉会致しました。会員の皆様有難うございました。



山形市中央
倫理法人会
MS 報告

明るく元気に 3000回!!

広報副委員長 高橋紫房子

「宜しくお願ひします!!」山形市中央の3000回記念特別MSは、6月22日山形国際ホテルに121人のご来場者を迎え、恒例のハイタッチ!!で元気にスタートしました。

今回は、アンガーマネジメントコンサルティンクの杉浦永子様より「アンガーマネジメントで職場と家庭の資産性を上げる方法」と題してお話を頂き、「怒りは自然な感情、大切なのは怒らなくすることではなく、上手に付き合うこと」と心理トレーニングの方法を教えていただきました。元客室乗務員の経験を生かして、やわらかい語り口で人間関係を円滑にするヒントを沢山いただき、後は実践あるのみ!!と山形市中央らしく笑顔で閉じたセミナーでした。今後も活力発信セミナーを開催してまいりますので多くの皆さま



の皆さまをお待ちしております。

山形市蔵王
倫理法人会
活動報告

清掃活動について

広報委員長 真田節子



山形市蔵王倫理法人会は、毎月一回、第三土曜日の5時から山形グランドホテル周辺の清掃活動を行っています。参加者は会長をはじめとする役員ですが、会員の皆さんにもお声かけとご報告をさせていただいております。この清掃活動は平成19年の9月にスタートしました(現在10月〜3月は休み)。第1小学校やまなび館、また大沼アパート周辺を中心に、ゴミや空き缶、たばこの吸い殻などを集めています。特に山形グランドホテル周辺のパーキングエリアは、たばこの吸い殻などが多数捨てられています。MSの始まる30分前という限られた時間の中での活動ですが、社会貢献の一助となることを願って頑張っているところです。

平成26年6月28日に行われました10周年記念の際には、当時の市長である市川昭男氏より、清掃活動を社会貢献活動として表彰していただきました。これからも地域の皆様のお役に立てるよう継続してまいります。

米沢市
倫理法人会
活動報告

社会貢献活動 第5回 米夢ロンド花苗植栽

広報委員長 鈴木総一

当単会にて2016年春より社会貢献活動として実施してまいりました、米沢市役所前花壇「米夢(マイム)ロンド」の第5回の花苗植栽が7月1日(土)に行われました。これまでも春・夏・秋の時期に季節の花を植え替えし、市民の憩いの場として管理を続けてまいりましたこの花壇は以前、市役所の噴水だった場所ですが、何年も前から故障により放置されていたものを当単会の会員からの寄付により運営資金を頂き、こうして素晴らしい花壇として生まれ変わらせることができました。

今回も、単会会員のほか、ボランティアの方々や、福祉施設の方もご参加いただき、総勢30名で約400本の花苗を植えることができました。当日は、昨晩からの雨模様で天候も心配されましたが、開始時間の頃にはちょうど雨も上がり、予定通り作業を行うことができました。植栽作業のほか、花壇周りのうごぎの垣根の刈込も行い、綺麗に仕上げる事ができました。またこの日は、中川勝米沢市長も足を運んでいただき、作業の様子をご覧いただきました。これからも米沢市倫理法人会として「米夢ロンド」の整備を推進し、市民のみならず、ますます愛される場所づくりに貢献してまいります。



の整備を推進し、市民のみならず、ますます愛される場所づくりに貢献してまいります。